

福祉健康科学部

| | | |
|--------|---|---|
| 所属・職位 | 福祉健康科学部 福祉健康科学科 社会福祉実践コース・教授 |  |
| 氏名 | 滝口 真 (Takiguchi Makoto) | |
| 取得学位 | 博士(学術)、佐賀大学、2021年3月 | |
| SDGs目標 |  | |

| | |
|---------|------------------------------|
| 研究分野 | 社会福祉学、ソーシャルワーク |
| 研究キーワード | 価値と倫理、福祉思想、ソーシャルワーク、障がい児・者福祉 |

| | |
|------|--|
| 研究内容 | <p>1. 社会福祉の哲学 社会福祉はマジョリティの社会においてマイノリティの問題を中心的課題とする糸賀一雄、阿部志郎、高田真治らの福祉思想の援用を試みる。主として、近代社会福祉の礎を築いた石井十次、留岡幸助、山室軍平、石井亮一、井深八重等のミッションの背景にある福祉思想をも視野に入れた価値と倫理および対人援助観について考察する。</p> <p>2. コミュニティ・ソーシャルワーク研究 福祉現場のソーシャルワーカーやケアワーカーとの研究会を通して、障がい児・者および認知症の高齢者への具体的な支援方法について地域の社会資源を応用援用するソーシャルワークおよびコミュニティワークの実践を可視化し、考察を試みる。</p> <p>3. 障がい児・者福祉 障がい児・者を捉える社会からの側面と同時に障がい児・者から捉える社会への側面の両側面からのアプローチを研究の視座に置く。医学モデルと社会モデルの両視点の位置からの障がい観を通して、ソーシャルワークにおける人間観や価値観への提言を検討する。</p> <p>4. 余暇生活への福祉的支援 障がい者や認知症高齢者等の生活における余暇の活用並びに生活を営む中での余暇支援のあり方について考察を試みる。アメリカにおけるTR(セラピューティック・レクリエーション)を援用しつつ、ケアマネジメントを応用したA-PIE(①アセスメント→②計画→③実施→④評価→⑤再アセスメント)プロセスによる実証的研究を進める。</p> |
|------|--|

| | |
|---------------|---|
| 研究業績・アピールポイント | <p>1. 「中高年齢期のひきこもりにある人々の生活困難の構造についての質的分析 — ソーシャルワーカーへのインタビュー調査を通して — 」(共著). 福祉文化研究第31号. 日本福祉文化学会. 2022.</p> <p>2. 「韓国老人長期療養施設におけるレクリエーション支援に関する考察 — 施設職員を対象としたテキストマイニング分析を通して — 」(共著). 日本看護福祉学会誌Vol. 27 No. 2. 日本看護福祉学会. 2022.</p> <p>3. 「介護支援専門員のもつスピリチュアリティとケアプランとの関連に関する研究」(共著). 日本看護福祉学会誌Vol. 27 No. 2. 日本看護福祉学会. 2022.</p> <p>4. 「権利擁護にかかわる組織、団体」(分担執筆). 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集. 『権利擁護を支える法制度』. 中央法規出版. 2021.</p> <p>所属学会：日本キリスト教社会福祉学会副会長(学会誌編集委員長)、日本福祉文化学会理事(学会誌査読委員)、日本看護福祉学会理事(学会誌査読委員)、日本社会福祉学会代議員(学会誌査読委員)、日本女子大学社会福祉学会専門委員 他</p> |
|---------------|---|